



絆

学校便り No.6
令和5年9月30日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

秋空に広がる、4年ぶりの歓声

校長 原 憲正

9月10日(日)に「奄美群島日本復帰70周年記念 第41回 住用へき地保育所・住用小学校・住用中学校合同運動会」が開催されました。

奄美群島日本復帰70周年の記念すべき年に、実に4年ぶりとなる1日開催の運動会を実施することができたのは何よりも喜ばしいことでした。

来賓席と敬老席が設けられ地域テントが張られた会場は、それだけで運動会の雰囲気盛り上げてくれます。そして、それに応えるかのように当日は見事な晴れの天気恵まれました。(少し暑さが厳しかった感もありましたが…)

競技も幼児や児童生徒の種目だけでなく地域種目も盛り込まれ、水くみ競争や玉入れでは大きな声援が響く中で、白熱した競技が繰り広げられました。そして、全校区民による八月踊りと六調では、みんなが一体となって大きな踊りの輪となり、運動会は大きな盛り上がりを見せました。

校区にお住まいの多くの方に支えられ、一緒になって作り上げた運動会。地域の中にある学校として改めて感謝の思いを一層強く抱く機会となりました。今後も住用にある学校への御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

笑顔の花開く合同運動会



「奄美群島日本復帰70周年記念」第41回令和5年度住用へき地保育園・住用小学校・住用中学校合同運動会を9月10日(日)に開催しました。4年ぶりの一斉開催となり、地域の方も御参加いただきありがとうございました。大会スローガン『闘魂力を合わせて 勝利をめざそう』のもと紅組団長川内蓮斗さん、白組団長 濱本紫音さんを中心に、子どもたちは準備から片付けまで精一杯の活動が見られました。競技では100m走、生徒会種目「力を合わせて」、家族徒競走、綱引き、紅白対抗全員リレー競技を暑い中最後までしっかりやり遂げ、生徒の成長が感じられる運動会になりました。地域の方が参加する一般種目や山間八月踊りなど、幼児から大人までたくさんの笑顔が花開く運動会となりました。運動会の様子は奄美新聞でも大きく取り上げられました。

大雨による災害に備えて

平成22年に奄美を襲った豪雨災害で、住用は甚大な被害を受けました。その時の教訓を今に生かし大雨による災害に見舞われた際に自らの命を守る適切な行動をとることができるよう、毎年名瀬測候所の方を講師にお招きして「防災教室」を住用中は小学校とともに実施しております。

今年も 10月20日(金)の10:45から住用小学校体育館で実施いたします。

児童生徒のほかに、保護者、各地域の区長や地域の方々に加え、今回は住用総合支所、住用駐在所、住用消防分駐所といった行政機関の方々にもご参加いただく予定です。

まだ記憶に新しい今年6月20日の大雨災害の時の事も踏まえ、奄美市の防災ハザードマップを使って、大雨警報が出されたときにどのように行動するかを考える、体験型の講座を実施いたします。

地域の方々も自由にご参加いただけますので、当日はぜひ会場へお越しください。

PTA 奉仕作業・運動場整備



8月27日(日)、6時30分からPTA親子奉仕作業を行いました。小学生、中学生、保護者、職員39名が参加し、草あつめ、石拾い、テントの設営等に汗を流しました。また9月5日(火)放課後には大京機動様他企業や保護者のお力をお借りしてグラウンド整備も行われました。おかげさまで合同運動会に向けて素晴らしい環境が整備できました。ありがとうございました。

奄美の自然を守る



9月21日(木)、環境保護活動・ふるさと美化活動の学習を行いました。奄美博物館の学芸員、平城達哉さんを講師に招き、「奄美の自然と環境保護～もっと知ろう！奄美の自然」という演題で講話をしていただきました。自然の大切さや外来種による生態系への影響等について学びました。

子どもたちも奄美の固有種についてよく知っており、これまでの学びが自分のものになっている様子がうかがえました。

声援がカに ～国体応援メッセージ～



子どもたちが夏休みから取り組んできた、特別国体応援ののぼり旗が完成しました。

また、応援メッセージを書いたプランターには、マリーゴールドとサルビアを育てています。10月8日からの特別国体で三儀山の相撲会場を彩ります。

応援する気持ちが、選手の好取組を引き出してくれることを期待しています。



結核への理解を深めよう

「結核」といえば昔の人がかかる病気で、今は医療の進歩により亡くなる人はいなくなった、そんな風に考えている人がほとんどだと思います。

しかし、2022年度の日本の結核死亡者数は1644人となっており、決して油断できる病気ではありません。

もし、咳が長引いたら結核を疑って病院にかかることも考えましょう。9月24日(日)～9月30日(土)は結核予防週間です。

先人の想いを受け継ぐ



9月27日(水)に大和村教育委員会の教育長である晨原弘久(あさはらひろひさ)先生をお迎えして、『奄美群島日本復帰運動』についての講演を行いました。

12月に校外学習として実施する「ふれあい体験学習」の一環で行ったこの講話では、奄美群島の当時の様子について、晨原先生が当時を知る方々から丹念に伺ってこられた体験談等を、先生自身が作られたテキストとともに分かりやすく丁寧にお話ししてくださいました。

戦後日本から切り離されていた時代に、本土と交流が取れなくなって、奄美の産業が打撃を受けたことや離ればなれになって会えなくなった人たちがいたこと、食べ物に困りひもじくて『なりがゆ』を毒抜きが不十分なまま食べて亡くなった人がいたこと……。そんな中で、泉芳朗先生を中心に、奄美の人々が一致団結して平和的な手段で、あきらめず訴え続けて、奄美群島の日本復帰を勝ち取ったことに、生徒たちも強い印象を受けたようでした。

終わりに生徒代表の泉彩羽さんがお礼の言葉を述べて授業を終わりましたが、その後も子どもたちが断食について話をする様子が見られました。「これからの学習につないでいきたいです」と話した泉さんの言葉、今後実現することが期待されます。

住用中にいもりんしよれ～！

11月1日(水)～7日(火)は『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』です。この期間は住用中が地域の方に開放され、普段の生徒の学習の様子などを参観できます。

受付は正面玄関です。お車で御来校の方は、上校庭本館玄関前の入口近くにどうぞ。玄関には名簿とスリッパを用意してありますので、ご来校の際にはどうぞご利用ください。

10月の主な行事

- 10/9(月) スポーツの日
- 10/14(土) 校内英語ショートレター大会
- 10/19(木) 生徒会役員改選
- 10/20(木) 防災教室
(10:45～、住用小体育館)